

様式 5 日常生活動作調査表

氏名

日常生活動作の状況	<p>1 手の支持があれば端座位は（ 不能 ・ （ ）分程度可能 ・ 長時間可能 ）</p> <p>2 物につかまって立っていることが（ 装具用いて・装具なしで ）、（ 不能・（ ）分程度可能） 物につかまらずに立っていることが（ 装具用いて・装具なしで ）、（ 不能・（ ）分程度可能）</p> <p>3 室内移動は、（杖・装具・なし）で（ころがる、ほう、壁・家具を伝う、歩く）</p> <p>4 屋外移動は、 (1) 杖、装具を用いても、（ 不能 ・ 5 m以上歩行不能・（ ） m程度歩行可能） (2) 杖、装具を用いて休みながら、（ 不能 ・ 20 m以上歩行不能・（ ） m程度歩行可能）</p> <p>5 公共交通機関の利用（具体的に）</p> <p>6 上肢の状況について 利き手（ 右 ・ 左 ） (1) 食事は、（全介助・半介助・（ ））を用いれば自力で可） (2) 自分でコップを持って、お茶を飲むことが、（ できる ・ こぼすができる ・ できない ） (3) 握力は、右（ ） kg ・ （ かなりある ・ あまりない ・ ほとんどない ） 左（ ） kg ・ （ かなりある ・ あまりない ・ ほとんどない ）</p>		
	<p>1 普通型車椅子の乗車経験（ 無 ・ 有 （延べ ）時間程度 ・ 日常的に使用 ） 乗車訓練指導を（ ）で受けた・（ ）で受ける予定・受ける予定なし</p> <p>2 車椅子への移乗方法について （介助なしの自力で、人に支えてもらって、ベットから臀部をすべらせて、介助者に抱えてもらって）</p> <p>3 車椅子の操作について（普通型車椅子の操作について記入のこと） (1) 前進することが、（屋内で（ ） m程度可能・道路で（ ） m程度可能） (2) 後進することが、（屋内で（ ） m程度可能・道路で（ ） m程度可能） (3) 方向転換が、（自分の判断でできる・指示すればできる・できない） (4) ブレーキの掛けはずしが、（自分の判断でできる・指示すればできる・できない） (5) 緩い坂道（5°程度）を昇ることが、（ できる ・ できない ） (6) 緩い坂道（5°程度）を降りることが、（ できる ・ できない ）</p> <p>4 片手駆動型、レバー駆動型車椅子を必要とする人のみ記入 乗車経験（ 有 ・ 無 ）、道路での操作（ 可 ・ 不可 ）、 方向転換（ 的確にできる ・ 努力を要す ）</p>		
調査年月日	年 月 日	調査者	（ ）から聴取して記入 福祉事務所担当者氏名

※ (1) 該当するものを○で囲み、必要事項を記入すること。
 (2) 日常生活で補装具を用いている場合は、杖、義肢、装具を装着した状態で回答してください。